

距離的に、感覚的に遠い存在である。

どれも学校と距離があり実質、内状を知るに時間がかかるしすぐに動けないと思う。

富田林では連携はうまくいっていると思う。

具体的な働きが知らされていない。日常的なつながりが無い。

情報が入って来ない。

担当者による。

連携はかかせません。

全ての機関が、それぞれにうけもっているケースが多すぎて、ケース会議を含めて時間がとれない。当然のことながら対応が遅れる。色々原因はあると思うが、最も大きい理由は人員不足に尽きると思う。

連携できている。

よくわからない。

それぞれのかかえるケース、仕事量が多いこと。

交流の場がなく着易く相談しにくい。

人員不足

教育委員会が場を作る学習会。

担当者を知らない。

どの程度に相談でもっていけば良いのか。分かりにくい。

全てにおいてその担当課の方によることが多い。話すら聞いてもらえないこともあり苦労した。

・時間的、人的に迅速対応がとりにくい。・個別に対応してくれているが、学校の思いと重ならない(ズレル)ところがある。

連携の機会があまりない。

(補導連絡会に入っていない) 現実的にどんな相談に乗ってくれるのかわからない。

連携したことがないためわかりません。

一度も合ったことがありません。

つながりが無い。

#### ④少年(補導)センターが連携しにくい理由

教員が人事の都合で配置されているだけなので、専門性が薄いし、補導においても権限がないので、ふみ込んだ指導ができないように感じる。

とにかくかかわること。

夜、休日には不在。

連携しにくいとすれば、担当になる人の仕事への取りくむ姿勢とか認識。

省内のセンターは、中学生以上の非行等に対応できる人材・熱意がない。教員OB

人員不足及び対応が非常に遅い。

あまり力にならない。高齢者が多い。

考え方がちがう面が多々ある。

市役所の奥にあり、少年が相談に入りづらい。

位置の問題がある。もう少し近ければもっと生徒も動きやすくなるので連携もすすみやすい。

学校の生徒指導対応が大変多く校内での生徒指導の強化対策としてスタッフの充実や組織の強化や充実ができていくのでその点を強化とすれば①～④との対応も成果があると思う。

現職不在。

多岐にわたる非行問題に対応するだけの人員の不足がある。

強制力がない。

活動が見えにくい。

近くにない。

距離的に、感覚的に遠い存在である。

どれも学校と距離があり実質、内状を知るに時間がかかるしすぐに動けないと思う。

連携はうまくいっていると思う。

担当者による。

連携はかかせません。

警察と補導センターと適時連絡をとり合っているのですが、連携しにくい理由など特になし。

全ての機関が、それぞれにうけもっているケースが多すぎて、ケース会議を含めて時間がとれない。当然のことながら対応が遅れる。色々原因はあると思うが、最も大きい理由は人員不足に尽きると思う。

連携できている。

協力してもらっている。人事移動が激しく連携しようとしてもぎれてしまう。場合があつたり、その人によっても考え方が変わる点が学校として少しやりにくい。

それぞれのかかえるケース、仕事量が多いこと。

広域に担当されているので、身近でない。

どのルートからここへ話をもっていけばいいのか・・・。

職務等多忙であり、時間に余裕がない。

人員不足

教育委員会が場を作る学習会。

補導センターが市外にあり、センター主催行事に参加しにくいこと。

身近なところに設置されていない。

全てにおいてその担当課の方によることが多い。話すら聞いてもらえないこともあり苦労した。

## 虐待を通告を考える理由

・時間的、人的に迅速対応がとりにくい。・個別に対応してくれているが、学校の思いと重ならない（ズレル）ところがある。連携したことがないためわかりません。

子供の指導や生活が困難な家庭の支援には今の親を考えると重要だと口います。

学校（特に私学）に補導生徒の事を知らせないようにする体質を改善するべきである。

幼児期暴力でしつけをされてきた子どもは暴力的になりやすいと思います。

一概に云えない。

Q19 保護者のしつけという点で感じるが割合はわからない。

ほとんどない

現時点では認知したものはない。

非行問題の背景として、児童虐待が存在することは常々感じるのですが、そこには父親の姿が大きな影響を与えるものと思います。逆に言えば、虐待された子どもは非行問題を起すことが多いとおうことで、この割合は、とても高いものだと思います。

虐待というのではなく、子どもからみた見捨てられ感がある。

「虐待の定義」にもよりますが、親の教育力不足は完全に原因でしょう。しかし、どんなに環境が悪くても、しっかりしている中学生はいます。その場合は家庭外の環境が大切ですが。

本校には事例がないため回答不可。

本校の先生はほとんどありません。

（児童虐待）軽いネグレクト（いわゆるほったらかし）が入るなら3割虐待の定義程度がわかりません。

ネグレクト、養育放棄的なものも含めて。

本校では2名（1家庭）

中学生の段階ではごくわずかだと思います。

保護者の離婚も虐待ととらえて。

3～5件/480人中

現在のところ感じる割合はほとんどない。

どの程度を虐待ととらえるかによりますがネグレクトを含めるとほぼ10割はこのことが影響すると思います。これからはネグレクトの児童が中学生となった時に非行に走るであろう。

9割以上あると感じる。

数例のみ

幼少期は虐待→中学生になるとネグレクトの傾向あり。

顕在化しているものはないが過去（小さいころ）にあったと感じる割合。

衣・食・住が満足にとれていない。（放任？）

ネグレクト＝70%ぐらいと考えています。

学校では確認できていない。

・両親が経済的に援助してもらっているという負い目から、子どもが性的いたずらをされていることを知りながら黙認していた。・子供が治療の必要がある病気にかかっているうたがいがあのに両親が経済的に苦しく医療保険に入っておらず、診察につれていかない。

現在把握される状況ではない。

家で寝泊りしてしまい。

ネグレクト。7件

学校で対応できなかったから。

服など洗えていないようなのと、食事の用意がなされていないなど、いくつもありネグレクトで相談をした。

本校では現在ない

はっきり見えない。

父親から虐待の可能性があると判断したため。

保護者からの虐待による。

義父による性暴力の疑いをもたれる生徒があったため。

当然のことである。

入学直後母からの相談でわかったケースだが、父親の母、子への暴力が認められたので。

・日常的に母の怠惰により食事が与えられない。義父の暴力。・父母が働かず、家賃滞納による退居命令がでた。（真冬の厳寒時期）

親の虐待が本人の体の傷よりわかったため。

緊急避難のため。

それらが通告先であり、学校の義務であるから。また学校だけではどうにもならないから。

現在取り組んでいる（進行形）、保護者への教育相談の点や視点の転換。

虐待から救うため。

ネグレクト・暴力。

父親の息子への暴力。

生徒の生活環境の改善のため。

そのような事例がないため。

学校では手に負えないから。

食事がとれていない。服装や衛生面からの不潔。

通告の義務が生じているし、次の対応へ向けての必要。

本校生徒の問題を通して、その妹（幼児）が養育放棄されていたので。

事例がない。

虐待の事実をつかんでいないため。

本人が悩んでいた。

まだはっきりとした状態の生徒と会っていない。（小学時に受けたかもしれないが、今は精神的にその影響が残っているだけかも。）

ネグレスト（3件）母親の養育態度。

通知が民生委員のケースが多い。

養育放棄のケースがある。

事例がないので。

生徒があざをつくっていたことから。

学校内でそのような傾向が感じられない。（家庭連絡をしている中で）

前例がないので。

本校ではそうされている生徒がいない。  
そのような兆候が見られない。  
虐待かどうかを判断できる。  
食事を満足に与えられず、給食の残りをできるだけ与えていたが、夜、家を出てスーパーで食料品を万引きした。親（母）がほとんど家にいないなどによる。  
酔っばらって娘に継続的な暴力をふるったから（父子家庭）  
以前、虐待の可能性があると総合的に判断し連絡したケースがある。  
虐待事例がないので回答不可。  
立場上、よっぽどの確証がないと通告できません。（田舎ほどそのような傾向が強いのと思います）  
児童虐待という事実が今までない。  
保護者が居場所不明。祖父があずかっているが父に呼び出されて金の無心役として使われ、学校に来ていない。（ネグレクト）  
父子家庭。父親の暴力で家出。現在施設に入っている。  
はっきりしたことがよくわからない。虐待といえるのかもよくわからない。  
十分な確信がもてない時。  
通告するようなケースがない。  
はっきりしたことがよくわからない。虐待といえるのかもよくわからない。  
十分な確信がもてない時。  
学校の教員では保護者を何とかするのは難しいので、権限を持つ児相にお願いした。  
状況は伝えました（相談した件もあります） 通告までは至りませんでした。（4年間で）  
情報をもっていない。（該当者が見当たらない）  
今の所ないと判断している。ネグレクトが多いと思う。  
身体に発達が遅れているように思えたから。  
両親の放任主義で食事も家でとっていない。  
しつこくいいながら暴力行為が一定限度を超えていると感じたので。  
生徒の友人宅で訴え、その保護者が学校へ連絡してくれた。  
衣食住（生徒本人の）が保障されていなかったため。  
虐待防止法、学校だけでは対応不可能（施設収容 e t c）  
疑いがあるということで相談した。  
相談はある。  
父親による性的虐待の可能性があったので通告した。  
深夜に親子の大声でのけんかを近所より連絡をうけたため。  
食事がとれていない。身なりの用意ができていない。  
保護者の養育放棄。  
親が罰として食事を与えなかった。丸坊主にするなどがつづいた。  
ひとりで生活している時期があったが本気でひき取ろうとしなかったため。  
虐待の「疑い」かと思われたので、今後の対応をスムーズにするため一報を入れた。  
家庭への介入は専門機関との連携が必要と思うから。  
学校だけでは対応できなから。  
はあくしたから。  
保護者の就学義務違反。  
複雑な家庭事情の為、児童相談所に通告した。  
通告するのが当然だから。  
暴力虐待や食生活の保護者のネグレクトがあったため。  
情報が入って来ない  
小・中で兄弟関係があり、近所でも周知になっている虐待ケースにおいて小・中連携して児童相談所に通告した。  
心配な生徒についてはそのつど相談している。  
養育されていない生徒が存在する。

虐待をする親に知られないように、もう一方の親と連絡をとって対処する。  
父子関係を正常な関係にもどす為。  
食べるものがないのでお金を貸してほしいと相談してきた生徒に対し、ネグレクトの疑いありと相談。  
ネグレクトで相談したことはあったが、基準が異っていた。  
実際にあったため。  
地域で小学生がいつも暴力を受けていると中学生に教えてもらった。  
身体的、言動的虐待、ネグレクト。  
父子家庭で親も仕事の関係で帰宅も不定期であり、食事が十分に用意できない状況であった。  
現段階で相談しているケースはあるが通告の態様はとっていない。  
本校では、子どもが親をのりこえ、逆に親がやられている。  
保護が必要になった場合の為。  
特にそういう問題がなかったから。  
家庭内暴力で医療措置入院したが「わがまま」が多分にあるということで早期退院し更に家庭内暴力口口にエスカレートし保護者が家から出て本人のみが生活することとなった。全く口口を受け入れずにいる本人に対し通告したが全く家庭へ口口対応していただけず相談がしづらくなった。  
様々な形で状況を把握しているが現在は0。  
事例がなかったため。  
通告はないが相談した。ウワサだけで確かめることができず、実態がつかめないから。  
生徒の生命に危険が迫っていたため。  
児童虐待であると判断するのが難しい。  
実際その家庭から110番通報があり警察が介入した。  
父親の暴力。  
地域より学校に連絡があった。生徒から相談をうけた。  
両親（離婚）のトラブルで子どもを放任（衣・食・住）家出→万引き  
通告なし。1度相談させていただいたことはある。  
実父母でないために家出し一時保護所へいったことから相談した。  
通告したことはないが相談したことはある。  
虐待>ネグレクト。生活力指導力のなさ→境目をつけることはむずかしいです。場合によってはプライバシー侵害となります。  
通告義務がある。改善の見込みがある。  
父子家庭の女子生徒の養育放棄、性的なギャク待の疑いがあった。  
話しかけると詳しく説明してくれる。  
連携して生徒の指導にあたるなかでそう感じた。  
ただの腰かけの人が多い。  
利用したことがない。  
動きが遅く弱い。  
適切な処置をよくとってくれる。よく悩んでくれる。  
説明を受けたことがある。  
児相と本校との距離がありすぎて、何日かに1回こちら（地域振興局）にくる程度で頼りにならない。  
非行の様々、マニュアル通りの指導では対応しきれない場合が多い。  
あまり利用しない（学校が落ち着いている）  
複雑、多様化しているため一概には言い切れない。  
知識、経験のある職員の不在。  
もっとその道のプロを配置すべき。  
ケースによって異なる。  
かかわっていない。  
担当地区内の児童・生徒の様々なケースの経験があり、客観的なアドバイスももらえる。  
専門知識は持っておられるがゆえにばれすぎているように感じる時があった。

虐待として相談すると、対応していただけるが非行に関しては動きが鈍いから。  
担当の人によって専門性のある方と全く経験のない素人の方がおられた。  
個人へ対応になっていて各学校が抱える背景について把握しているとはいいいがたい。児相に対して職員が期待感もなく無力と  
思っている傾向がつよい。  
どのような対応が行なわれるかが、実際に見えてこない。  
多面的に対応してくれる。  
家庭と学校をつなぎ、すばやく対応してくれた。  
精神的な分析等。  
相談員の免許的なこととは関係なく、実力的にあると認めがたい。  
話を聞いていて、知識の低さを感じる。  
いろいろな子どもたちを見てきていると思われるので。  
非行に対して相談活動のみの対応に終始するため。  
担当者によって異なるから。  
よくわからない。  
対応が良いから。  
子どもの動向に関するのであれば、専門的なことも研究しなければならない。  
職員の配置など難しい面があるような気がします。  
わからない。  
心理職の人は専門性が高いと思う。  
障害児教育、とじ込みの不登校などの相談も多い中で非行も同じように取り込んでいる。  
親がOKを出さないと何も動かない（動けない）  
経験が豊富で様々なケースに対応している。  
専門的な教育を受けた人より多様な経験から導き出される対応が重要。  
当然あるべき。  
自信なさげに見えた。  
非行に関しては少年補センターの方が適切と思われる。しかし、施設収容等は児相の扱いだ。  
担当者により理解のていどに差がある。  
ケース会議での話では、本人の状況を心理の方面からも専門的にとらえているから。  
様々な専門的アドバイスを頂いてきた。  
スタッフの個人の問題  
対応する職員によりちがう。  
プロであるから当然。  
ケースワーカーがエリートすぎる。  
担当者によって対応が違うから。  
組織対応はスムーズだが、家庭訪問等で子どもとの対応は問題がある。  
同様の事案をよく扱うから。ケースワーカーなど専門職のひとがいるから。  
一応「ある」と思うが担当者によってバラツキが大きい。  
呼び出された生徒がいてくれば、ある程度役に立つが、行かない生徒はお手上げに近い。  
現場の生徒指導主事の方がいる。  
あつかっている事例にかたよりがあり。  
担当するひとによる。  
心理学療法的接触が多いと思われる。非行生徒が児童相談所へ行くというイメージがないから。  
それなりの資格をもった職員だと考えるから。  
どの程度かよくわからない。  
担当による。  
担当者によって差異が見受けられることがある。  
個々のケースにおけるコンサルテーションはできても、現場の厳しい状況にたいして対応できていない。  
ケースワーカーが多く件の数に関わっているので専門性があっても発揮できない様だ。

現場から一步遠い所で仕事がなされている。  
多くの事例に対応していると思うため。  
非行は警察となっている。児相では前に進まない。  
犯罪を予防することは難しい機関と思う。  
心理士による分析が必要。  
担当者が□□□□1人であったり学校側からいうと話を聞いてもらってもその子に面接してもらっても変化がみられないことが多い。  
非行といってもさまざまの□すべてに専門性を持つということは難し・・・。  
実際に対応している姿を見たことがない。  
警察にたよりすぎている。  
本校で相談なし。  
あるとおもいますが、いくつかの例を見ているので。  
一つの非行行為に対し、多角的に原因をさぐろうとしている。  
事例に対する背景への考察や学校へのアドバイスが適確である。  
相談していないのでわからない。  
ケースによって違うと思う。  
ただの腰かけの人が多い。  
利用したことがない。  
いつ相談してもよく話をきいて動いてくれる。  
時間が都合がつけばできるものである。1名の対応では無理があるため言い切れない。  
虐待に対する対応が優先されているようだ。  
まず、親がウンといわないといつも□まる。  
ケースや担当者によって差がある。  
こちらから連絡するだけ。  
得手不得手がありそうだ。  
9-6の回答とも関連するが、今の子どもの現象を止めたいときでも本質的な問題から見られるので、意味はわかるが、速効性となると現場とはあわないこともある。  
法的な部分を前面に押し出し、言動不一致の時があった。  
虐待として相談すると、対応していただけるが非行に関しては動きが鈍いから。  
自主性が育つのを待つ間、対応がおくれがち。  
児相と学校の組織れんけいや児相の方向性がみえない。  
ケースによると思われる。  
現在は担当がかわられて、とても積極的に対応してくださる。以前は相談所自身がひどく逃げ腰で扱ってくれなかった。  
対応すべき生徒が多い中でも、親身に相談に乗ってくれる。  
家庭と学校をつなぎ、すばやく対応してくれた。  
次の非行を防止するために相談しても、対応が遅い。  
体験上。  
動きがおそいことが多い。  
収容しても、その時の様子だけで判断し、問題なしと生徒を返すことが多い。  
学校と距離があるので。  
大きな問題をおこさなければ施設入所を考えないため。  
担当者によって異なるから。  
協力的である。  
こちらから相談してはじめて動くから。  
学校と連絡をとり合っているのだから。  
話を聞くだけで全く改善されない。  
最近では積極的になってきたように感じます。  
熱心な人とそうでもない人はがいる。

虐待については積極的。  
どんなケースでも対応してもらえる。  
担当者により大きな違いがある。  
本校から相談にいった件で思うように動いてはもらえない。  
担当者にもよるが。  
学校でやってくれと言いたそう。  
非行面では警察への姿勢を感じる。  
どのように対応するかわからないといわれる。  
対応したくてもかかえているケースが多すぎるように感じる。  
様々な面に対応して頂いてきた。  
現在の担当の人が熱心。  
ケースによるから。  
ない人なら変えてもらおう。  
野ばんに弱い。  
担当者によって対応が違うから。  
甘やかしているようにしか見えない時がある。  
少ない人数でよくやっている。  
担当者によるから。  
こちらから、しつこくアプローチすれば対応してもらえる。  
人員不足。  
学校との連絡、報告、相談などの回数があまりにも少ない。  
忙しすぎて1人1人に長時間かかわれない。  
忙しいようなので（面談・相談日の間隔から）  
よくわからない。  
担当による。  
担当者によって差異が見受けられることがある。  
9-3、9-4とも関連するが、一人のケースワーカーがケースを持ちすぎて臨機応変に対応できない。  
何とかしようという姿勢は感じられる。  
かかえている事案が多すぎることは想像できる。  
担当者による。  
よくわからない、見えてこない面も。  
本年度、後半よくなった。  
即対応はありえない。結局、学校からの通告がないと難しい。それくらい多忙であるとも理解できる。  
人による。  
報告を聞いているかぎり多忙であるにもかかわらず、ていねいに報告されている。  
対応が遅い時がある。  
警察まかせ。  
本校で相談なし。  
非行と虐待の両方を中心に対応しているようなので。  
学校側の思いとずれていると感じる時がある。  
1人であれだけの件数をこなすのは無理。倒れてもおかしくない。そういう条件で仕事をやれせる`行政`に問題があると思う。  
押さえが必要なシーンで、一般論に走ることがある。  
警察や捕導センターへの連けい等、非行への対応の熱意を感じずる。  
来てくれそうだから。  
対応できないというわけではないが、所員1人がかかえている事案がとて多いとを感じる。  
ただの腰かけの人が多し。  
利用したことがない。



件数が多すぎる時期があり動きづらいときがある。  
人員不足はいなめないと思う。  
とにかく対応すべき範囲が広すぎるし、問題も多すぎる。  
1人が担当する事案が多過ぎると感じる。  
迅速に対応してもらえないことがあった。  
多様化していると実感する。  
担当の方は多忙を感じるそのわりには動いてくれて（感謝しています）もっと上の方の判断が迅速ならと感じる時があった。  
少しでも問題が軽いうちの初期対応を学校は望むが、混みあっているため、それがしてもらえない。  
対応されている案件、事件でせいっぱいで余力がない。  
非行生徒については、日々の関わりが重要となるので、数が増えれば対応が困難となる。  
会合などでそんな話を聞くことが多い。  
対応すべき生徒が多い中でも、親身に相談に乗ってくれる。  
家庭と学校をつなぎ、すばやく対応してくれた。  
体験上（多忙ですむような仕事だとしたらそれ自体がたいした仕事ではない。）  
一部の□□によるが、困難を抱えた方、子どもたちにむきあうには、  
相談所の実態がわからないから。  
よくわからない。  
時間がかかる。  
きちんと学校・家庭と連絡を取り合っていたから。  
1日に複数の件の対応（家庭訪問など）をされているようです。  
わからない。  
なかなか担当がつかまらないことがある。  
職員の数が少ない（動ける）  
ケースが多すぎる。  
面接、指導の回数を増やすよう要求しても応じてもらえない。  
なかなか連絡がつかないことと、ケースが入っても家庭訪問等動いてくれることがまれであるから。  
一人で100を超えるケースをかかえている。  
ケースが多い。  
件数の割りに人数が少なすぎる。  
多忙であるが対応はできている。  
対応に時間がかかる。  
件数が多い。  
対応しようとしてくれるがムリなケースもpあるから。  
はっきりいって今の10倍以上の人手は必要。  
担当している子ども、地区の範囲が広すぎる。  
忙しすぎて1人1人に長時間かかわれない。  
時々そう思う。  
よくわからない。  
多忙だが対応して下さっている。  
担当者によって差異が見受けられることがある。  
一人のケースワーカーが200人近いケースを抱えていては満足な対応はできない。  
管轄区域が広い。  
配慮を必要とする生徒が多すぎる。  
学校現場は本当に忙しい。  
色々な対応をする割に人員配備されていないように思われる。  
枚方市内、2名では少なすぎる。  
不満もあるが、基本的には多忙すぎ同情もしています。  
迅速□□。

講演会での話で、何人に対してのCWの人数を聞いた。  
人員不足である上に事例が多すぎる。  
出張（他の生徒の対応）等で連絡がつきにくいことがある。  
こちらからはたらきかけをしないと、具体的な動きにならないけ一すもある。  
強く思います。  
何人もの子どもに対応している。  
多忙は多忙なようだが、割合対応についてはよくやっていると。  
学校からの相談電話を即応した対応をしてもらえない。  
わかりません。  
対応できないというわけではないが、所員1人がかかえている事案がとても多いと感じる。  
ただの腰かけの人が多い。  
利用したことがない。  
件数が多すぎる時期があり動きづらいときがある。  
いつも不在で連絡を入れてもらうことが多い。  
地域に密着した形で、分散設置し、それぞれに十分な人員を配置する。  
1人が担当する事案が多すぎると感じる。  
皆さんお疲れのようだ。  
担当地区がもう少し狭くてもよい。  
担当の方を見ていると昨今かかえる子どもや家庭の数はキャパを超えていると思う。  
9-3と同じで問題が大きくなってからしか対応してもらえない。もっと人手があればそうではないだろう。  
学校状況・背景のはあくや組織的対応がむずかしいのではないかな。  
相談回数の確保がむづかしい。  
非行生徒については、日々の関わりが重要となるので、数が増えれば対応が困難となる。  
会合などでそんな話を聞くことが多い。  
1人の相談員のかかえる生徒が多い。  
家庭と学校をつなぎ、すばやく対応してくれた。  
書類作成だけにきゅうきゅうとしているように感じる。  
たくさんの真しな大人たちが必要である。  
学校現場もそうであるから。  
相談員が沢山の人間と件数をかかえているのを知っているから。  
よくわからない。  
時間がかかる。  
きちんと学校・家庭と連絡を取り合っていたから。  
1日に複数の件の対応（家庭訪問など）をされているようです。  
わからない。  
聞くところによると、1人で100ケースぐらい扱っているとか。  
1人の職員のうけもつケースの数をきいておどろいたことがあります。  
専門家が少ない。  
ケースが多すぎる。  
担当者の人格にもよるが、やはり人手不足は大きな要因で全ての問題はここにある。  
面接、指導の回数を増やすよう要求しても応じてもらえない。  
いろいろな担当部署があると思うが学校の動きに詳しい人が当たっていると思わないので。  
なかなか連絡がつかないことと、ケースが入っても家庭訪問等動いてくれることがまれであるから。  
3つの市町をほぼ一人で対応している。  
件数の割りに人数が少なすぎる。  
多いほうがより深いかかわりができる。  
ひとりのワーカーがかかえている数が多すぎる。  
対応に予約が必要である。

同じ人がよくかかわっている。  
1人の受け持つ件数が多いから。  
1人の担当者がかかえるケース数が多すぎる。  
積極的に動くにはあまりにも人手が少ない。  
担当している子ども、地区の範囲が広すぎる。  
忙しすぎて1人1人に長時間かかわれない。  
担当者がいくつもの学校をかけ持ちしているようだから。  
教員も不足している。数は関係あるのか。  
1人がうけもっておられる件数が多い。  
連絡をとってもケースが立上がるまでに時間がかかりすぎる。  
広い割りに人数が少ない。  
配慮を必要とする生徒が多すぎる。  
多数の事例を受け持っているよう。  
枚方市内、2名では少なすぎる。  
複数地に（3市町村で1人）なんてありえない。頑張っている人は心身に影響し心配している。  
迅速□□。  
講演会での話で、何人に対してのCWの人数を聞いた。  
東大阪市100校園（幼小中）を5～6名で対応している。  
受け持つ人数が多過ぎである。  
強く思います。  
何人もの子どもに対応している。  
電話すると担当者が他のケースに対応している事が多い。  
不登校の相談を親が連絡したが、面談は1ヶ月後ということになり、親や学校の緊急性に対応できていない。  
いつでも連絡してくださいと言われていた。  
最近その傾向が強まってきたと感じた。  
ただの腰かけの人が多し。  
利用したことがない。  
よく顔をだしてくれる。  
不在であっても連絡をいただいたり、時間に後れても会に参加していただける。  
連携しようにも、多忙すぎる。時間的に無理。  
ケースや担当者によって差がある。  
こちらからしか連絡していない。むこうからはない。  
学校への連絡がしっかりしている。  
努力してもらっている。  
内容によっては学校側に完全にまわる形になったケースがあったので。  
学校との情報交換やスパック会議の出席など協力的である。  
どちらともいえない部分もあるが、攻めの連携は感じられず、行けば対応してくれるけれど、あまり期待できないといった印象を多くの教師がもっている。  
担当者同士の連携がうまくできないことがある。  
現在はそう思う。  
よく連絡を取り合える。  
家庭と学校をつなぎ、すばやく対応してくれた。  
昨年度から態度が少し軟化した。  
相談所と連携して非行問題に取り組んだ事がないので。  
多忙ななか、電話で連絡だけしてくる。  
気軽に連絡してくれと言っている。  
連絡が密で、生徒を更生させようとしたから。

最近はこまめに足を運んでくれることが多くなりました。  
色々相談にのってもらえた。  
何百件もかかえていると、連絡をしょっちゅう取り合うのは無理。  
ていねいに対応してもらっている。  
本音が見えない。  
学校への報告・連絡・相談はしてくれるが学校から見相への方が多いのは残念だ。  
事件や、困った事があり連絡をとると何とかしなければ（児相が）ということは伝わる。  
こちらからアポをとらないと対応してもらえないため。  
連携を密にとっていただいている。  
現実にもそうしている。  
努力はしている。  
いろいろな連絡会議等でコンタクトをとるようにこちらからしている。  
連絡会で相談にのってもらっていた。  
訪問指導等では、必ず内容も伝えてくれる。  
交流を行ったり、連絡を密にしている。  
保護能力のない家庭が増加している。  
姿勢としては見えるから。  
毎月、連絡会を持っているし、相談にも乗ってもらえる。  
不十分である。  
情報交換はマメにできている。  
学校に情報請求は随時あるようだ。  
何かあった時の電話の対応から。  
自分が勉強不足。  
担当者によって差異が見受けられることがある。  
よほど緊急であるか、積み上げがないと即時連携してもらえない。  
使用と思っても対応している生徒が多数いる。  
多忙で連携がとりにくい。  
連絡会がある。  
生徒指導関連機関の会合によく参加してくれ、情報交換が盛んである。  
本年度、後半よかった。  
重要だと認識された場合の□についてはもっと丁寧さが必要だと思います。  
気持ち・意欲はある□□  
連絡会での姿勢がそうである。  
定期的に市単位で連絡会を持っている。  
連絡が遅い。  
よく相談にのってもらっている。  
時間的な余裕がみられないので仕方ないかも・・・。  
割合ひんぱんに連絡してもらえる。  
ケースワーカーが何度も中学校に足を運んでいる。  
わかりません。  
保護者の意見で対立する場合はまず、そうはしない。  
ただの腰かけの人が多いい。  
利用したことがない。  
専門性がない。  
子どもを助ける適切な処置をとってくれる。  
そのような場面がみうけられない  
親権に対する配慮が画一的で、柔軟性に欠ける。  
ただ今いっぱいである。

ケースによって違う。

9-2に記載したように「本人が心からどうしても行きたい」と思わないと意味がないという言葉をよく聞く。確かにそのとおりだが、まわりの生徒への影響を考えたとき、学校現場として「果たしてそれだけか」という壁にぶつかる。

対応には頭のさがるケースが多いので。

空気がないことを理由にされるから。

施設入所の説得を学校が積極に行うまくいった場合はしっかり対応していただけたが、そうでない場合は消極的。また、施設内の運営管理上の問題もあるだろうが、攻撃性の強い生徒は少しさけられている印象を感じる。

学校も兎相の期待感がうすく、とりあえず段階的な機関として必要であるからと思う。

施設入所にはメリットとデメリットがある。

以前の相談所ではためらったが、現在は良いと感じる。

本人の意思がなければマイナスである。

家庭と学校をつなぎ、すばやく対応してくれた。

いろいろあるので。

生徒の資質・家庭環境の複雑さを考慮すると、わからなくなる。

相談所と連携して非行問題に取り組んだ事がないので。

体験から、そう感じることも多岐あり。

ケースバイ、ケースで事例によって異なることがある。

何もかわらないから。

本人のために施設に入ってもらったことがある。

ためらったことがない。

行政機関として当然の職務だと思うから。

現在児童相談所に入所させなければならない生徒はいないので。

8のケースでも結局保護者の同意が必要ということで無理だった。強制的にはよくないということだった。

家庭環境を整えるのにはかなりの時間（話し合い）がいる。週に1~2回 だけど現実には月1回がいいところ。

たくさんケースに対応してもらっている。

満員とよく言われた。

適切だと思うときもあれば、そうでない時もある。係官による差も感じる。

入所に対して慎重になっていることがある。（そうなる理由もわかっているが）学校として早く身柄を保ごしてほしいときに

本人の納得を第一目標にされ機会をのがすことがある。

施設がたえず定員の100%を越えた状態にあるため。

本人の背景、今後等をにらみ、迷う所であるので、何とも言えないが、収容人数の事も思う。

ケースによる。

児童相談所が入所させたと見られることをいやがっているように感じることもある。

生徒にとって何が一番良いのかをいつも考えるから。

児童自立支援施設の定員過多。

慎重なときが見られるから。

「本人を納得させなければ」とよく言うがそれはむずかしい時も多いだろう。

必要かどうかを検討しているから。

結局親を説得しきれない時があるから。

保護者に対して毅然とした態度がとれない。

施設入所の方が、絶対良くなるケースが多いが「満員」という理由で断られる。

慎重すぎて、親や子どもの要望が叶えられることが多かった。

施設の受け入れが困難。

ほんとうにそれがベスト（本人とまわりも含めて）かどうか？

回答できなくてすいません。

現状での更生を重視されているように感じる。

ケースによって一概に判断できない。

その子どもに最善の環境調整をしようとしているのかどうかつかみにくいときがある。

施設の数が足りない。

ケースバイケース

施設もいっぱいである。

収容定員枠との関係。

必要と思えば、ためらわない。

いつも満所だといわれる。

接法少年、家庭の保護能力のない子どもを積極的に入所させないと現在の非行は減少していかないように思う。

施設の収容の能力の限界。

本年度、後半よくなった。

本人の同意、保護者の同意が必要といわれても、そこまでの関係づくりはつくれないと思います。

気持ちはあると思うが人口□迅速ではない。

実際にそういうケースがなかった。

施設が満員である。

入所ワクが少ないので、問題（非行）生徒はかなりのことをしないと入所できない現状。待つ間にどんどん悪くなる。

施設が満パイでどうしようもないと感じる時もある。

家裁からの入所以外は保護者の説得に困難な面があるようだ。

なかなか入所できない。

入所が相当と学校の総意があっても、そうならない事もある。

「ギャク待」を受けた子どもが施設入所をイヤがったとき、20才の姉にしばらく預かってもらうなどの対応であった。一時保護署に入ったのは家出を半年したあとであった。

## 児童相談所に望むこと

今のままでいいのでは！！

専門的な能力をもつ所長をもっと増やしてほしい。保護能力に欠ける保護者にもっと強い対処ができる権限を持たせてほしい。

早目早目の対応をのぞむ。

ただの腰かけの人が多し。そもそも意欲的な人が少なく、信用できない。

月1回は会を開いて話合いができればいい。

もう少し権限があればと思う。（家庭等に）

とにかく前向きに。

職員数を増やしてほしい。

特になし。

行政に対してということになるがとにかく人員を大幅に増やしてほしい。

何度も現場にあたらなければならない。

権限強化。中心部以外にも支所において活動を強化してもらいたい。

子どもがづらい状況にならないように小さい時期にどどんはいっていければ。

職員数増

不登校にしる、生活指導問題、ギャクたいにしる、身近に常駐の専門家をつけてほしい。今の体制では殆ど用をなさない。体制上あるだけ。

「子どもの権利」を言われ、施設入所も本人の意向を優先される。子どもを守る、視点がないように思うことがある。

専門的な人を増やし、非行、不登校、精神的な課題等にも対応してもらいたい。

特になし。児童の役に立つことを優先してほしい。

適切な（的確な）対応をのぞむ。

対応するためにも増員をのぞむ

とにかく人員増しかない。

早い対応を望む。

人員の増員

もっと警察等と連携をとってほしい。弱い学校の味方になってほしい。

職員増をして個々の方の負担を軽減していただきたい。

迅速な対応

もっと積極的に動いてほしい。

もっと学校に積極的に学校にかかわるべきである。

特になし。

もっと人員をふやしてほしい。

人員を増やす。もう少し「強制力」をもたせてもよいのでは・・・。（本来の目的と違うのかもしれないが）

家庭訪問も含めて、より積極的な関わりを求める。

・本人の状況だけでなく、集団の中での姿や及ぼす影響の中で、分析していく視点・権限が限られているため、虐待だけでなく非行する生徒に対する措置についての権限を与えるべき。

スタッフを増員してほしい。

法に詳しい（抜け道・裏道を知っている）のをかざにきて、学校にまくって「はあーそれは法的に無理ですね」みたいな事は二度とやめていただきたい。

連絡があった時の敏速かつ責任ある対応。

増員と施設そのものの増設。

素早い対応。

施設の拡大。人員の増員。不登校対応。専門職の配置。

もっと積極的にかかわっていただきたい。

児相の活動についての広報活動、ガイド等の役割、□情報の提供。

学校からの一方通行の相談だけで終わることのないようにしてほしい。

特になし。

もっと学校との連携を密にしてほしい。

家庭へのきりこみ。行政とのつなぎ。虐待への対応。

人数増。

現行の法律では、積極的に動けないのではないかな。

困っていて相談がほとんどなので、もっと積極的に取り組んでいただきたい。

よほど重唱ねないと相手をしてくれない所らしいので、日頃の連携はあまり感じない。しきいを低くすれば話は別。

家庭、学校、両方がら情報を入れようとするべきである。

当地域では特にありません。

中学生の収容、指導にもっと積極的に対処して欲しい。

ナーバスになっていて今一つ取り組みに消極的であるので、またケースによっては受け付けてもらえないこともある。（たらいまわし）

動きを早く！

相談所の人数（職員）を増やしてほしいと思う。

生徒の置かれている立場を理解し、自立のために必要な対策を行うべき。

対応をできるだけ早くしてもらいたい。

非行児童の例はないがそれ以外で手のかかる子には援助してもらっているので特になし。

非常に多忙ななか健康に気をつけてください。人手不足が解消されることを望んでいます。

□の法律である少年法をもとに、保護をねらいとして成立しているが、昨今の非行を考える矯正の色合いをこくしてほしい。

特に本校としてはない。

通所している生徒の定期的に情報交換してほしい（児相と学校）

情報交換をする場をつくってほしい。

見通しをもった連絡・相談。

学校・家庭との連携。

出入りが自由にできる所なので、情報がいくらでも手に入る。もっと制限されてもいいと思う。

学校としては、とことん取りくんでお手上げ状態になることが予されるので相談をかけているのに、対応が遅い。もっと人員を増やして欲しい。

学校と同じく職員の数を増やすべき。

人員増による手厚い援助を期待している。

できることと無理なことをはやく判断してほしい。

親の意識改革。

むしろ行政側に予算とスタッフの増員をもとめる。

人数を増やし、市に常駐してほしい。

期待は大きいが実態として、その期待に応えるだけの人的・物的・配備が不足している。

担当者にもよるが、動いていただく時間帯や連絡をとれる時間に制約がありタイムリーな対応ができないことがある。何とかできればと思う。

まず、増員し十分な対応をしてもらえるように。

人員の増とすぐに動いて本人親や関係機関と。

もっと権限をもってほしい。

あまりにも人数が少なすぎる。門真という地域性を考えると一人では無理である。

もっと積極的に動いてもらえれば。児童相談所の数を増やさないと。

職員数を増やし積極的対応を望む。

ケースワーカーの増加。

早い対応をお願いしたい。

人員を多くし、きめこまかくお願いしたい。

人手を増やしてほしい。

相談員の方が余りにも多くの件数を抱えられている。相談員の増員が必要。

人数が少なく多忙だと思う。

人員を増やす。

家庭裁判所と連携してほしい。親への審判をして欲しいから。

スタッフ（専門性）をもったの増員を。

学校現場との交流をもっと。

法の力により適切な対応をお願いします。

適格に判断してほしい。

本校は地理的に児童相談所に近いが、遠いとないかと不便でしょう。

人員を増加させてほしい。（行政への要望）

配置人数をふやす。親への指導の強さ（権力）を相談所がもてるようになる。

児童相談所だけの問題ではないが、動きにくい状況を考え、何が問題なのかをはっきりさせていく必要がある。

早期に自立支援施設等にいてやった方がいいと思う生徒が増加しているので対応を早くしてほしい。

もっと職員を増やして欲しい。一人の相談員が抱える事案が多すぎる。

訪問指導、面接等でカウンセリング要素を入れてほしい。

担当人数を増やしてください。（行政に対して）

相談ケースが増加で充分対応できないのが現実、予算の関係もあるが、人員増を強く望むところです。

多くのケースワーカーが必要。

積極的なかわりを求める。

人員の確保。

人員を増やすことと、虐待ケースのように、法な拘束力をもっと持たせるべき。無責任な弁護士の言いなりになってほしくない。生徒への「きびしさ」を忘れずに対応してほしい。

迅速かつ積極的に行動してほしい。情報収集ばかりでなく相談所自ら判断し対処してほしい。

子ども家庭センターの職員は頑張っていると思います。行政が施設や人員を増やさないかぎりどうしようもありません議会や国の行政の怠慢を感じます。



体制、方法など時代に即して改善してもらいたい。虐待や療育的なものと非行傾向のもの二種類の対応ができる条件を整備してほしい。

行政が大切な機関だと思うなら人員を増やすべき。

児童相談所関係の研修会があれば参加したいと考える。

もっと強い権限を児童相談所が持てれば良い。

臨床心理士が少ないと聞いていますので、もっと増員して細めな対応をしてもらえば助かる。

くわしい先生がいないのでよくわからない。

増員。

既に提案されたが、早く虐待について法的な力を持てると良いですね。

なかなか連絡がとりにくい(忙しいそうであり、1時間30分学校からかかるので)

医療機関との窓口になって欲しい。

人数を増やして相談しやすい(時間的に)環境を整えてほしい。

職員の増員とS. S. W的関わり方、学校への細かいコンサルテーション。

人手を増やすべきである。また、家裁がもっと動くべきである。

共に現場に行く等の現場主義。

職員増。

もっと対応できる人数を増やすこと。警察との連携をもっと密に。

人手が少なすぎ、よほどでない相談を遠慮してしまう。

対応を早く対応者の増員。

予兆に対する相談対処に消極的。

国の施策として、人員増加及び相談所の増設が必要であると痛切に感じる。

今の調子でがんばってもらいたい。

とにかく人手不足。

課どうしの連絡会がないのではと思うときがある。重大な課題があるときはセンター全体で考えてもらいたい。

迅速で適確な対応。

多くの人材を登用し、すばやい適切な対応をのぞむ。

CWの増員。

人員の増員。

担当人員を増やしてほしい。

増加していく件数に対応できないので人手を増やしてほしい。

必要と判断された場合の施設入所を強くすすめてほしい。

人員を増やし、初期対応を望む。

職員数を増やして担当する子どもの数を減らしてあげてほしい。

増員、所員の資質向上。

人員の増加→機動力のアップ

忙しいけどがんばってください。

気軽に相談できる場所であってほしい。

各市町村にあつてよい施設だと考える。より地域密着を！

事務的な面がみられる事があるので、改善してはどうか。

対応の速さとケア。※そのためには「行政」が動いてその職員の働きやすい環境を整えることが先決。

現在のところありません。

人員を増やし対応できる回数を増やしたい。

施設に入所した方が良いと思われる生徒をすぐに保護して欲しい。

相談にかけている生徒の面談の様子等の密な連絡をとりあえる時間の確保。

学校としては特にありませんが相談所にもっと大きな権限を与えてくれたら活動しやすくなるのでは。

児童相談所の職員は、親権者の立場や対応を気づかいながら子どもへの対応をしているが、「もっと権限をもっていたら」と思うケースが何度かあった。学校の意向と異なる対応もあった。

指導援助等学校に協力してもらっているが、その位置、法的権限もふくめてもっと強いものをもってほしい。

担任、生徒との連携。

入所後の児童生徒が期待する程度良くないと思われる。

詳しく知りません。

あまり、その活用の実態について知らないから。たまた、数が不足しているということはよく聞く。

本校の生徒もよくお世話になっている。

保護者の姿勢による。

一部

児童相談所の判断が遅く、児童自立支援施設では対応できない状態になる子ども多い。

ない。(児童自立支援施設)

昨年度は大変お世話になりました。

どの学校も、特にためらうことなく相談また利用している。

まだ十分な周知ができていないように思う。

しかし、充分とはいえない。もっと多くの子どもがはいてもおかしくない。

児相に止まってしまう。

あまり明確にされていない。

あまり深く関わっていないから。

施設がない。

非行生徒が多く入所しており、生活改善に向け努力されている。

私の努力不足。

生活を立て直し、がんばっている姿を目にする。

大きなことはしないが軽い犯罪やら、それまがいのことをくり返す生徒は、周囲への影響も大きくなるとかしたいと思うが児童相談所の見解もあり施設との距離は遠い。

施設はないが、相談室が開設されており、そちらに登校指導を受けるケースも多い。両者は連絡を密にとっている。

相談の為に訪問する時に子ども達に多く出会うと重要な役割を果たされていると感じます。

施設の規模が小さく、入所が難しい。

いっぱい順番待ちでなかなか入れない。許容量が少なくなっている。

一部、方向性の高い施設のある。・熱意が感じられるし方向性がある。

不登校生徒に対する支援活動

(活用されている)がしかし、数が足りない。

施設に入ろうとしない生徒、入らせない親がいるのが現実である。

そのような事例がないため。

わからない。

まだまだ、ためらいが多い。

現在直接的なかわりわりがないため現状不明。

近くに支援施設がない。

児童相談所の働きかけで入所した経緯があった。

世話になった生徒がいるので。

1人1人でいねいに相談してくれていると思う。

実態がわからない。

特に問題がないのでよくわからない。

前任校で実際に行ってみて実感したから。

常に定員いっぱいである事情を知っているから。

通える範囲にない。

対象となる生徒がいない。

不登校の生徒がお世話になっている。

関わったことがないから。

情報があまり無いので知識がありません。

以前、自立支援にむけて協力願ったケースがある。  
家庭での教育力が無い場合は必要なので。  
活用されているかいないか、あまり中のことがわからないから。  
本校で入所させている生徒はいないため。  
あまりその辺の情報は伝わってきません。  
生徒が活用したから。  
活用しすぎて、学校のまる投げが見えないこともない。  
同じ市内の生徒が何人もお世話になっている。順番待ちがよくある。  
たくさんのケースに対応してもらっている。  
ただ満員でなかなか入れない。  
空きがあるのに入所できないと聞く。  
中学校生徒指導担当者がよく連絡をとっている。  
施設の職員の方々の生徒への熱心な対応には頭の下がる思いがする。何人かの生徒が更生するのを助けてもらった。  
八尾市から修徳学院等へお世話になっている。  
収容できる人数が不足している。  
忙しすぎて学校と連携まできていないのと思う。  
地域の児童自立支援施設というのが何を指して質問しているのかわからない。旧教護院を指すのか。  
生徒の問題に対して積極的にかかわってもらうようケースによって強くお願いしている。  
生徒本人の反省・考える場が必要でそれに応じてくれている。  
入所人数に限りがあるため。  
施設そのものも職員の負担が大きそう。いろいろな子どもを収容し対応しきれないと感じる。  
本校でも昨年度よりお世話になっています。  
たえず定員の100%をこえている状態。しかし、指導がいきとどかなくなり、本来の機能は果たせなくなっている。  
これだけ不登校がいるのに施設はヒマである。  
本校でも現在一人が入所しているが、連携もとれていると思う。  
いっぱい、忙しくしているから。  
入所が多く順番待ちということもよくある。  
入った生徒がいらないからわからない。(人から聞いたことはわかるが・・・)  
在校生2名が担当者にかかわってもらっている。  
なかなか入れない状況。  
入所をさせたくても満員の状況があり、どちらの見方もできる。  
在学生在が世話になっている。  
大変、御世話になり、親身になってくれている。  
本校の校区の施設はいずれも交流をよく行い活用されている。  
本校区でのケースがない為。  
いつもほぼ満員状態。  
いつも満員。  
いつもほぼ満員の状態だから。  
活用されるまでの手順、条件があまりに多すぎる。  
家庭に置いておいても自立できない子どもが多い。  
世話になった卒業生もあつたようなので。  
それなりに入所しているから。  
わからない。  
自分自身があまり活用していない。  
どの施設もほぼ満員状態である。  
入所した生徒に関しては、手厚いサポートと、学校との連携を大切にしてもらっている。  
不登校生徒。

本人の意思さえあれば、生活を整えることにより、真面目な生徒にもどることができるから。  
施設が少ない。  
相談にはのってもらえるが、組織的な対応になっていない。  
本校の生トもお世話になった。  
収容人数が少なすぎる。  
日常的には関係のある施設ではないように感じている。  
希望が多く空待ちである。  
本校の生徒もお世話になっている。  
満員だと聞いている。  
具体的な支援事業や効果がわかりにくい。  
いつも満室状態と聞かされているから。  
不登校生が自立支援施設に通えるようになり通学までできた。  
入所基準が高い。  
本校からの利用者なし。  
お世話になってよくなる生徒が多い。  
子供の状態で順番まちのような気がするときもある。  
常に定員をオーバーしているような状況である。  
活用されているが施設定員数が非常に少なすぎる。増設すべきである。  
その中の寮長、寮母の生活も大変である。その気持、情熱がなければ務まる仕事ではない。何人かの生徒がお世話になり痛感した経験がある。  
しかしいつも満員の状態でなかなか入れない。  
本当に入所が必要な場合でも満員で入れないなどよく聞く。  
現在、入所待の状況にある。これを改善して欲しい。

## 児童自立支援施設に望むこと

優しいが厳しい一貫した指導。  
非行生徒の生活の様子を知るにつれ、経済的な面や保護者の養育能力の面で問題がある場合が多いことを実感する。その数に比べ、自立支援施設の数少なすぎると思う。  
職員の数を増やし、もっと数多く、入所させてほしい。  
とにかく前向きに。  
できる限りその子の心の改善につとめる。  
キャパシティの増。  
施設・設備の充実。  
事後の保護観察を長くしてほしい。生活の様子を学校へ。  
多くの課題にスピーディにかつ適切な支援ができる専門性と人員の配置  
ある程度の枠組みの中にとどめられる施設になってほしい。  
啓発が必要である。  
学校からの連絡だけではなく担当を決めて学校にも出向いたり連絡がほしい。  
子育て事業、地域に根ざした部分と細やかさを望む。  
施設を多くしてもらおう。  
生活体験と集団教育を中心とした人間づくり。  
虐待傾向の子供にかぎらず多動児等の生徒も受け入れてほしい。  
職員定数を増加させたい。  
キャパシティをふやしてほしい。  
入所後はたいへんていねいに連携、指導いただいています。  
施設なし。  
昨今では難しいとは思いますが昔のような厳しい更生施設であれと願っています。（応援します）